

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る
令和3年度おもてなし事業等の検討状況について

1 主旨

令和3年に開催予定の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)に向けた、アメリカ選手団のトレーニングキャンプやコミュニティライブサイト、おもてなし交流事業、ホストタウン・共生社会ホストタウン事業等において、令和3年度に世田谷区が実施する事業の検討状況を報告する。

2 事業実施に向けた考え方

(1) 東京2020大会開催を前提とする。

開催期間：オリンピック (令和3年7月23日から8月8日)
パラリンピック (令和3年8月24日から9月5日)

(2) 東京2020大会開催以降のレガシーの実現を目指す。

「賑わい・多文化」「子ども・教育」「障害・多様性」「スポーツ」の観点を踏まえ東京2020大会終了後のレガシーである「共生のまち世田谷の実現」につなげる。

区は、東京2020大会以降も、アメリカ選手団を応援・支援する。

区は、アメリカのホストタウン・共生社会ホストタウンとしてUSOPCやアメリカ大使館とも連携し、東京2020大会以降もスポーツや文化等を通じた区民との交流を継続する。

(3) 世田谷区政策方針及び令和3年度予算編成基本方針を踏まえ、必要性・有効性・公益性等をゼロベースから検討し効率的・効果的な事業を実施する。

(4) 世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会との連携を継続する。

区民や事業者などが参画している世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会は、区民全体の取り組みを「おもてなし」と位置づけ推進することを目的に設立された。東京2020大会を絶好の機会として、区・区民・事業者が連携しオール世田谷として、「心をひとつに」「皆で楽しむ」「本物に触れる」「新型コロナウイルスを乗り越え、再びまちに活力を取り戻していく」ための取り組みを実行できるよう、実行委員会事務局である世田谷区産業振興公社と連携し、事業を実施する。

(5) 東京2020大会期間中に区民及び来訪者が安全・安心に過ごすために必要な事業を実施する。

(6) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底する。

事業実施にあたり、参加者の事前登録や入場制限、消毒液の設置、参加者のマスク着用の義務付けや現場での検温実施など、国や都、区の最新の情報を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、密集・密閉・密接の3密を避けた形態により事業を実施する。

3 見直しの検討状況

2で示した事業実施に向けた考え方及び令和3年度の予算編成の状況等を踏まえ、本質的な見直しを行っているところである。現時点での主な事業の見直しの検討状況を以下に示す。なお、現在令和3年度予算編成中であり、内容は調整中である。

区分	主な事業
実施の方向で調整	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティライブサイト ・100日前イベント ・オリンピック・パラリンピック聖火リレー ・東京2020大会の記録 ・世田谷スーパーパレード2020 ・めぐれ！世田谷の灯プロジェクト～世田谷ピースランタン～ ・せたがやクリーンアップ作戦 ・ボランティア推進事業（大会期間中のボランティア活動） ・観光冊子等の配布 等
休止の方向で調整	<ul style="list-style-type: none"> ・和のこころ Ring of Peace ・2020 SETAGAYA SPORTS フェスティバル ・おもてなし事業（花のおもてなしプロジェクト） ・イベントホームステイ ・観光馬車運行 観光メッセ 流鏝馬イベント ・ピンクタイパーティー ・まち駅ライブ事業 等

<参考 おもてなしプロジェクトの主な事業>

事業名	主な見直し内容
コミュニティライブサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場、日数、手法及び経費の見直し 実施目的、新型コロナウイルス感染症対策及び経費等から実施会場および日数を検討し、区内の賑わいの創出できる場所1か所での実施を想定する。 オリンピック2日、パラリンピック2日 オンラインを活用した手法等の検討
世田谷スーパーパレード2020	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法の見直し （参加者の精査、見学者の事前登録、オンライン実施など） ・実施会場の見直し （区民利用施設、公園、スポーツ施設など） ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底 （参加者の検温、マスク着用、消毒液設置など） ・経費の見直し
めぐれ！世田谷の灯プロジェクト～世田谷ピースランタン～	<ul style="list-style-type: none"> ・事業手法の見直し （参加校間の移動距離の短縮など） ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底 （参加者の検温、マスク着用、受け渡しごとの消毒実施など） ・経費の見直し